

入居者一人一人の意思及び人格を尊重し、入居者へのサービス提供に関する計画に基づき、その居宅における生活への復帰を念頭に置いて、入居前の居宅における生活と入居後の生活が連続したものとなるよう配慮しながら、各ユニットにおいて入居者が相互に社会的関係を築き、自律的な日常生活を営むことを支援する。

④ 施設・事業所の特徴的な取組

- ① ICT・ロボット機器の利活用による介護現場革新の取組（「三重労働局 労働安全衛生努力賞」受賞、事例報告、取材等多数）
- ② 「みえ働きやすい介護職場取組宣言事業所」（宣言番号1）
- ③ LIFE（厚生労働省 科学的介護情報システム）フィードバックデータの活用
- ④ 透明性の高い人事考課制度
- ⑤ 業界団体、他施設、企業等との情報交換・意見交換
- ⑥ ホームページによる情報発信、情報公開

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和4年5月12日（契約日） ～ 令和4年11月28日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	1回（平成28年度）

⑥ 総評

◇特に評価の高い点

【情報発信力】

ホームページを活用した施設の取組を中心とした情報提供、情報発信が積極的に行われている。毎日のブログ更新、事業計画・事業報告、処遇改善計画、苦情結果、職員および家族アンケートの結果のみならず、施設の特徴的な取組であるDX（デジタル・トランスフォーメーション）の現状の取組や動画配信報告等、余すところなく公開しており、情報発信力は目を見張るものがある。それにより、利用者の家族や地域住民が得られる情報が多く、安心して利用できる、また信頼される施設であろうとする姿勢が強く感じられる。

【地域との関わり・公益的な活動】

「私たちは地域に信頼されるべき存在であり続けます」の理念に基づき、地域との関わりを大切にし、地域貢献活動に力を入れている。三重県社会福祉協議会の『みえ福祉の「わ」創造事業』への参画による生活困窮者支援や、地域の健康意識が高いニーズから、法人から提案しウェアブル端末を用いた先進的な介護予防事業を実現させるなど、積極的な取組が行われている。また、地域全体の安全確保に向けた取組として、福祉避難所としての避難所運営訓練（HUG訓練）の実施や三重県災害派遣福祉チーム（三重県DWAT）にも参画している。

【積極的な介護ロボット・介護機器（テクノロジー）の利活用】

ICT やロボット機器等のテクノロジーの利活用で、介護現場の革新に取り組んでおり、全国でも屈指の先進的かつ特徴的な取組が行われている。最終目標である IoT（Internet of Things）化に向け、新たなことにチャレンジし、ワクワクしながら取り組んでいる様子が窺える。

◇改善を求められる点

【書類等の管理】

共有フォルダでの管理が増え、印刷して保管している書類は比較的少ない。しかし、共有フォルダ内のデータは最新に更新されているが、紙の書類は未更新という状態のものも見られた。常に最新のものが保管されるような工夫が望まれる。また、共有フォルダ内での管理が増えていることから、書類の検索時間を削減できるようなフォルダ整理を実施されたい。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回は平成 28 年度（2016 年度）に受審し、6 年が経過したため再受審することとなりました。評価機関に評価いただくことで、前回の課題が改善されているか、また、時代に合わせた進化ができていないか、確認を行うことができるよい機会となりました。良い評価をいただいた点は、スタッフの自信や励みとなります。

一方で課題があった項目については、質の高いサービスを提供することができるように組織全体でスピーディーに改善を行ってまいります。引き続き、福祉サービスの質向上に努めてまいります。

⑧ 第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。